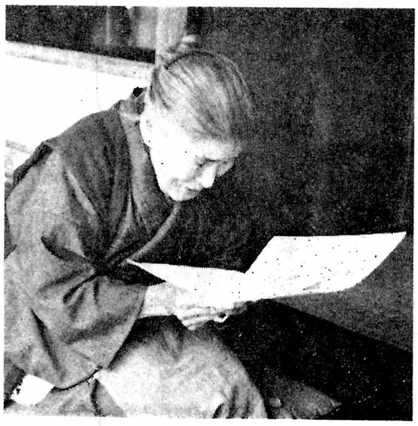
くにみ

【第７２号】
昭和38年９月15日発行
非売品
発行所　国見町公民館
発行人　佐藤善次郎
編集人　鈴木美一
印刷所　宇佐美印刷所

"ご長命おめでとうございます"

敬老年金を贈る
県……６人・町……１０５人



年金證書をうけるおとしより

九月十五日老人の日に県では八十八才以上のおとしよりに金三千円を贈つてその長命を祝し、永年社会のためにつくした功に酬えたが、わが国見町の該当者は次の六人の方々である。

氏名	生年月日	住所
玉手タツ	慶応三・八・六	西大枝
新井文翁	明治六・二・二	同
松浦ツヨ	同　七・三・五	光明寺
菊地リカ	同　七・四・一	塚野目
小林イシ	同　七・三・五	西大枝
市川ナジ	同　八・五・二四	石母田

尚わが国見町では八十才以上の方一〇五人に敬老年金を贈つて祝意を表した。該当者次のとおり、

◎小坂方部　一三名
古内初太郎　阿部イチ　佐藤兵助　佐藤ジュン　高橋忠次郎　一条ハナ　後藤ミヨ　高野トメ　高野喜三郎　佐藤サツ　高原カネ　若林ハナ　山田トメ

◎藤田方部　三六名
松浦マキ　高橋キク　小西トモ　舟山まさ　仲野シモ　古関親之助　渡辺源助　羽賀トメ　武田荘八　市川ナジ　佐藤吉兵衛　菊地林兵衛　斎藤トメ　小林タミ　吉田シン　八島喜一　宮沢マツ　佐々木ツキ　菅野安吉　阿部ハク　吉田ヨネ　奥山カヤ　佐藤粂次郎　阿部喜平　佐藤ユリ　斎藤コク　高橋シカ　宍戸まん　一　村上ヒロ　高橋喜蔵　浅野ハル　武田よね　藤田サダ　阿部ヨシノ　斎藤うら　高橋福次郎

◎森江野方部　一九名
宍戸シモ　菊地リカ　宍戸善昌　佐藤ナカ　菊地フヨ　宍戸サト　石川ハツ　菊地ミン　徳江トミ　小幡くら　斎藤サン　佐藤クキ　佐藤チウ　佐藤庄吉　斎藤ミネ　後藤ハル　小島カツ　佐藤ナチ　谷津ユン

◎大木戸方部　二〇名
武田トラ　八島キン　桜沢クニ　渋谷亀次　松浦ツヨ　忍コク　佐藤エキ　松浦市郎　八島富蔵　高村マス　畑中久兵衛　松浦タツ　阿部ハナ　高橋徳五郎　後藤今朝太郎　志村ヨツ　志村茂兵衛　長谷川市寿　佐藤よつ　遠藤ナチ

◎大枝方部　一七名
井砂源左衛門　玉手タツ　佐藤喜平治　鈴木シン　新井文翁　松浦テルヨ　鈴木イチ　小林イシ　鈴木重兵衛　高橋ハナ　瀬戸友次郎　後藤せつ　佐久間サイ　佐藤ツル　松浦治平　佐藤幸七　岩城伝蔵

計　男　三三名
　　女　七二名
計　一〇五名

「老人の日」によせて

公民館長　佐藤善次郎

漂泊の詩人杜甫の曲江と題する詩に

朝回日日典ニ春衣一
毎日江頭尽レ酔帰
酒債尋常行処有
人生七十古来稀
　以下略

杜甫はこの作詩の年大暦五年の冬、湘江の舟の中で死んだことになつている。時に齢五十九才。このことを思うと、杜甫の時代には、七十才の老人は、おそらく一郷に数える程しかいなかつたことであろう。それが最近の厚生省の発表によると、平均寿命が男六六・二才、女七一・二才である。人生五十年の時代をかえりみれば、現在は十五年から二十年の長いきである。いいかえれば、十五年乃至二十年若返つたことになる。つまり七十才の老人も五十才台に若返つたものと考えていただかねばならぬ。

とはいうものの、それはなかなか容易なことではないと思う。それで私は、ここで老人の定義を考えてみたい。私はこんなふうに考える。老人とは、過去における経験に執着し、ものを見る尺度が固定化して、その見方以外の見方を考えられない人、つまり、新しい社会に対する適応性がなくなつた人……そういう人を老人というのではないだろうか。とすれば、新しい社会に対する適応性のある人は老人とはいえなくなる。

要するに新しい社会に対する適応性を生ぜしめることが若返り法の最良の方策である。

それでは、若返るにはどんな心がけが必要かを考えよう。

私はここで、三つのことを提案したい。

その一は　それぞれの人に適当した運動を毎日の日課として継続してやることである。これは健康を保持する上に最も大切なことと信ずるが故である。ラジオ体操もよかろう、或は朝夕の散歩や田地廻りも結構である。疲れを明日に残さぬ程度の軽い労働もよいと思う。

その二は本（新聞、雑誌を含む）を読むことである。変ぼうする現代社会に対する適応性を持続するには、これをおいて他にない。ラジオやテレビがその代りになるかに考える人があるかも知れないがそれは大きな誤りである。もちろんラジオもテレビも結構であるが、読書には読書する努力が必要である。この努力をしつつ読むところに意義があり、ナガラ族などには考えられないことであるかも知れない。手にとる本の選択に意を用いねばならぬことはもちろんである。

その三は努めて若い者達の話し相手になることである。若い者にはどんな者でも若い生命力があふれている。そのはつらつたる生命力に接することによつて自己の退化せんとする生命力に活を与えることができることと思うのである。

以上三点に留意されれば、七十才のご老人も五十才台の生命力をとりもどすことができると信ずる。つまり新しい社会に適応して生活していけるものと思う。

老人には、特定の人間がなるのではなくして、人間すべてのものがいつかは老人になる宿命があるのであるから、年齢はたとえ七十、八十であつても、精神年齢はいつも五十台であるよう心がけたいものである。

よく見、よく聞き、よく考えよう

(1) 農業構造改善にファイトをわかす

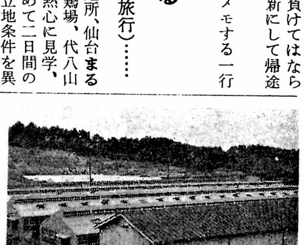
桑折、国見農事研究連絡協議会と生活改善協議会では、八月三十日、相馬郡鹿島町の農業構造改善事業を視察研修した。一行一二一名は二台のバスに分乗し、全国に名を誇る鹿島町全地区（四地域）にわたる農業構造改善事業の実態に接し、真に心に迫るものがあつた。土地基盤の整備、基幹作目の選定、余剰労力の活用と、立地条件に合つた綿密な計画、農家個々の実態に即した推進方法など感歎するものばかりであつた。そして旺盛なる町民の意欲と協力心に対し「負けてはならぬ」との決意を新にして帰途についた。

【写真】熱心にメモする一行

(2) 十万羽養鶏などを見る
……（農改推進員の研修旅行）……

日頃、農業改良の第一線で活躍している推進員協議会（会長渋谷一衛氏）では去る九月四、五の両日にわたり、山形、宮城の先進地を視察した。

参加人員五四名、山形農業試験場の稲作技術神町りんご研究所の樹勢による改良剪定、神町果樹共選所、仙台まるはの一〇万羽養鶏場、代八山放牧場の各所を熱心に見学、明日への糧を求めて二日間の日程を終えた。立地条件を異にするわが国見町にどんな型で導入し、われわれの福祉に直結する農業構造の改善に役立てるか、これがこんどの視察研修の目的であり、今後の成果が期待されるところである。



【写真】立並ぶ鶏舎

若返りと知識の向上に努めよう

国見町老人クラブ

国見町老人クラブでは去る五月二三日飯坂町温泉センターで総会を開き、三十八年度の行事を左のように決めた。

一、会員の健康診査の励行　町の決定日時に希望者には無料で実施する。

二、町内の各種団体と連絡を密にし、親睦を図り、若返りと知識の向上に努める。

三、町内にある公営物の見学研究をし、社会的理解を深める。それがために各支部毎に計画して役場・学校・保育所・母子寮・病院・水源施設その他工場等を見学する。

四、神社・仏閣・公園・道路等の清掃を各方部毎に実行する。

五、総会及び集会
イ、春の連合総会を開き、前年度の決算及び行事等を決定する。（五月二十三日飯坂温泉センターで実施、七十余人参加）
ロ、各支部毎に老人の日前後に総会を開く。
ハ、各支部は更に小地区に分かち、毎月一回必らず集会を開くよう努める。

六、会員の不幸葬送の際にはクラブ旗を捧げ、香奠を供えて支部員が参列する。

七、会員は、健康保持のためつとめて野外に出かけ「歩け歩け」の運動をし、老人体操を実行し、朗らかに笑い、楽しく暮らす習慣を作るように努める。

愛される老人となろう

現在わが国見町には一千人を越す老人があり、老人クラブの会員は現在四百人、来年度には八百人に達するものと思われます。この多数の老人を抱える本会が、老人福祉法の趣旨を体して、老人の幸福を増し、社会に役立ち、社会から愛される老人になるための事業活動をするためには、国や町からの補助金、会員の会費増収を合せても尚不足です。そこで創立まだ日浅い本会の基礎を固め、会活動の基盤を整備するため、町民各位の友情に訴えて寄付金をお願いする次才です。基金はあくまで基本金であつて据置貯金としその利子だけを事業運営費に充てるわけです。尚その管理にはじゆうぶん注意し、元本の貯金証書は町収入役に保管を依頼することにきめてあります。

この計画を公表したところ町内はもちろん町外有志からも特段の好意を寄せられ、すでに十数万円の寄付申込みがあつて会員一同感激しております。どうか力の弱いとしよりたちの願いが一日も速く達成されますよう皆様のご理解とご協力をお願いいたします。さいわい冷害予想で不安であつた稲作も豊作を期待できるまでに至りました。われわれ老人も、みずからの人づくりを忘れずに一意精進し、住みよい町づくりのために微力をつくし、余生を正しく生きぬく覚悟でございますので相変らずのご指導とお励ましの程を衷心よりお願い申上げます。

（国見町老人クラブ連合会
役員一同）

町民体育大会近づく

前日祭に聖火リレー

昭和二十九年秋、町村合併記念として始めたわが国見町民体育大会は、その後懇親と融和をモットーとして行ないつづけ、今年で十回を数えるに至つた。

わが町も来年三月で合併十周年を迎えるわけで、本大会もその記念行事の一つとして行われるもので、町当局をはじめ関係者は、その名にはぢない盛典にしようと目下研究中である。各種団体員はもちろん一般町民各位の参加をおすすめする。

◉一般の部では　一〇〇メートル　おしどりレース　輪まわし　スプーンレース　リレー　綱引き
◉ＰＴＡ　ＰＴＡ音頭
◉青年団（青年学級を含む）　各部リレー　聖火リレー　ボール送り　外に個人競技
◉婦人会　カード合せ　ボール送り　玉入れ　日本ばんざい　日の丸あげて
◉婦人学級　五輪音頭　あづまおどり
◉農協婦人部　一本脚のかかし
◉農青連　豊年万作
◉未亡人会　借りものレース
◉老人クラブ　宝拾い　玉入れ
◉消防団　出動競争　一六〇〇メートルレース　消防演習
◉剣友会　剣道実演
◉山友会　ツアー
◉職場　四〇〇米リレー
◉部落長、組合長　輪まわし　ビンつりレース
◉町議会　鈴わり
◉交通安全会　安全運転
◉役員　輪廻し　ボール送り
◉前日祭として聖火リレーを行なう。
◉県北中　聖火

◎タバコは町内の小売店で買いましょう……タバコ消費税はわが町の大きな財源です

◎国の幸、わが家の幸も貯蓄から……見まわせばここにも一つ貯蓄源

〝本を読むお母さんたち〟

婦人学級であづま号利用

本を読む……ということのおもしろさはわかっている。育ちゆくわが子のためにも本は読まなければならぬこともわかっている。

ラジオやテレビの娯楽番組に耳をかたむけてばかりいては、考える力が弱っていくことも承知している。

本を読むことのたいせつなことを承知していながらなかなか読めない……それはなぜだろう？

適当な本がそばにないからだ。仕事に追われてひまがないひまはあっても、本を読むことはひまつぶしだ、ひまだれすることは悪いことだというかんねんがある。たまに読んでみようと本に向ったとたんねむくなってしまう。

こんなことを解決するにはどうしたらよいか。それにはグループで読むことだ。

国見町内の各婦人学級にはそれぞれ図書係があり、これまで公民館の本の利用を図って来た。こんど農立図書館のあづま号(移動図書館という)が来たのを機会に、大いにこれも利用して婦人たちの読書活動をたかめようと、去る今月三日四日の両日、駐車場になっている役場前、小坂小学校、貝田の三か所に集って、それぞれグループ員の分を借りて帰った。これらの本は、これから二か月間みんなで読まれ、読み終えたものは交換して読み、要点や感想をノートに記録し、ときどき集ってはこれを話し合うことになった。

【写真】は「あづま号」の前に並んだ図書係たち

これでとかく話題がきれて沈滞しがちな話し合い活動も一段と活発になることであろう。

伊達地方農村教育青年会議
技術交換大会開かる

農村青年の友情を培い、新らしい時代に即応する技能、知識を体得する目的で、第一回の技術交換大会が、八月二十六日と二十七日の二日間福島市荒井の陸上自衛隊福島駐屯部隊内で、農業改良普及所主催により実施された。

大会には国見町より十数名が参加し、自衛隊内に天幕を設営してのキャンプ生活で大会は進められた。

特に開会式には、県農政部長、亀岡代議士、石幡県議も臨席し盛大に挙行された。

大会行事は根本普及所長の講話に次いで、技術競技(鑑定判定診断審査)が行なわれ、夜はキャンプファイヤーを囲んで、にぎやかに楽しいつどいの時間をすごした。

第二日目は、地区対抗のソフトボール大会に、日頃の疲れも忘れて熱戦を展開し保原地区が優勝の栄冠を担った。

最後に二日間の反省と評価を行なったが、参加者の意見は、伊達地方として、今後も継続実施してほしいとの要望が強く、又自衛隊という変った場所で実施したことは我々青年としても大いに自己学習の良き場所であったとの評価であった。

閉会式に先立って、前日実施された技術競技の表彰が行なわれ国見町から参加した松浦功、小野和子、宍戸惣兵衛、古山君江の諸君が晴れの表彰を受けた。

参加者の一人松浦功君はその感想を次のように述べている。

ぼくたちは「若い土の会」というグループをつくって研究をつづけていますが、こんどの大会に参加して大いに自信がつきました。今後は一そう地区内の青年諸君と友情を深め、学習に精進し農業経営と生活向上のために努力したいと思います。

わたくしたちの法律 (二)
老人福祉法とは？

こんど国会を通過し、七月十一日公布され、八月一日から施行された老人福祉法というのは、いったいどんな法律でしょうか。差当り、多年にわたり社会の進展につくしてこられたとしよりにとって関係があり、われわれもまたいつかはご厄介にならねばならぬこの法律について、一応目をとおしておきたいと思います。本法は本文三十六か条と附則十九か条から成ります。

先ずこの法律は、老人の福祉に関する原理を明らかにするとともに、老人に対し、その心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な措置を講じ、もって老人の福祉を図ることを目的とします。(第一条)それがためには、老人は多年にわたり社会の進展につくしてきた者としてみんなから敬愛され、かつ、健全で安らかな生活を保障されると共に、としより自ら、老齢に伴って生ずる心身の変化を自覚して常に心身の健康を保持し、その知識と経験を社会に役立たせるように努めるものとされています。従ってとしよりは、その希望と能力とに応じ、適当な仕事に従事する機会その他社会的活動に参与する機会を与えられることになります。(第二～三条)

以上の基本理念を実現するため、国及び地方公共団体は老人の福祉を増進する責務を有し、国民の間にひろく老人の福祉についての関心と理解を深めると共に、老人に対し自らの生活向上に努めるよう意欲を促すため、老人の日を設け(九月十五日)国及び地方公共団体は、これにふさわしい事業を実施するよう努めなければならないと定められています。(第四～五条)

又老人の福祉増進のためのサービス機関としての社会福祉主事、福祉事務所、保健所、民生委員、老人家庭奉仕員等の役割(第六～一二条)や、老人福祉の増進を図るために教養講座、レクリエーションその他ひろくとしよりが自主的かつ積極的に参加することができる事業を行うと共に、老人クラブその他の福祉を増進することを目的とする事業を行なう者に対して適当な援助をするよう努めることになっています。(第一三条)

次に老人の健康を保持するために市町村長は、わが区域内に住む六十五歳以上の者に対して毎年、健康診査を行なわれなければならないし、必要があれば老人ホームその他の施設に入れてやらなければなりません。(第一〇～一一条)

以上としよりの福祉に関する原理を明らかにし、心身の健康保持と生活安定に必要な措置を講ずるよう規定され、第一次に市町村、第二次総合的に都道府県が実施しなければならないよう義務づけられ、国は高い理念の上で指揮監督と指導をすることになっている。

以上あまり簡単にして誤解を招くおそれがあるかも知れませんが、くわしくは本文をお読み下さい。

機械化―単純化
八島君より第八信

豊かな実りの穂が秋風に波立つ季節となり、今年も昨年以上の豊作が予想され、又農産物の価格も大へん良いとか、町民皆様の笑顔が目に浮びます。私もますます元気で仕事に励んでいます。すっかり生活にも馴れ、日常の言葉にいくぶん苦労はあるが快適な生活を送っています。

住めば住むほど魅力のあるデンマーク国、生活が全く安定しています。出来るなら住みつきたい位です。

農場を変えて一か月、若い主人(二六才)と奥さん(二三才)の生活を見ていると、まったく伸び伸びとほんとうに生活を楽しんでいるようです。奥さんは一番の朝寝坊、僕は毎朝五時から十二頭の乳しぼりをし、牛舎の掃除を終え、七時食堂に行く頃奥さんが起きて来ます。食事はビアーと呼ばれる家事見習いの若いお手伝いさんが、十分位で作ります。ここでも他の外国と同様、朝食はコーヒーとわずかな実に簡単なものなのです。

今デンマークは、麦の取入れの最中です。僕も毎日麦の作業が続き、三十五町歩の取入れが一週間で終りました。コンバインは三〇パーセント位で大半はバインダーですが、機械の能率の高いのには今更ながら驚きます。

コンバインは、刈取り脱穀、ハレム(麦から)の抱装、そして麦をかますに入れる作業を一度にやってしまいます。これは個人経営の機械ステーションにたのみます。今年は気候が良過ぎて麦が大部倒れ手のつけようがないようなところも美しく仕事をし麦の穂一本残しておきません。コンバインの料金は一時間九〇クローネー(日本のかねにして四五〇〇円)位ですので非常に高いコストのようですが、それ以上の仕事をちゃんとやっているので"毎日晴れていれば、朝五時から夜九時頃まで働いています。

デンマークの八月は雨が多く、三日に一日は降ります。雨が降れば外仕事を休んで中の仕事です。それでも八月一ぱいで麦の取入れは全部終ったようです。私も毎日主人と二人でトラクターを働かしています。しかし今の仕事は麦刈りだけで、日本のように一度にあれもこれもとダブルことはありません。二つの仕事が一時にダブルのは播種期だけですので、いつも一つの仕事に専念できるのです。

私たちの農実習は今月で終り、十月から半年間学校に入ることになります。十月一か月はデンマーク語の語学学校、十一月から三～四月頃まで農学校に入ります。四月末か五月上旬、フランスのマルセーユから船で帰国する予定で、六月上旬には帰れましょう。

まもなく町民体育大会ですね。今回は第十回ですね。皆さん、お元気でお過し下さい。

(九月二日)

附記

ノルウエー・スエーデン・デンマーク三国旅行の写真を送られて来ました。公民館に保管してありますので、おついでがあったらごらん下さい。

(係り)

若妻たち一〇名参加
農村婦人講座始まる

伊達地方各農業改良普及所共催の農村婦人講座が去る八月二十八日保原町公民館で開かれ、わが国見町からも左記の婦人たちが出席した。この講座は、他産業の進展に伴ない、生産、消費(生活)の両面をにないつつある現在の農村婦人に対し、資質の向上を図ることが極めて重要であるところから、管内各町の推進力となる中堅婦人を集め、継続的な学習をさせるために開設されるもので、三十六年度から毎年開かれていた。本年度の募集人員五九名で、わが町からの参加者は次の一〇名である。

氏名	部落
方部　サヨ	方部
藤田　ヨシ	山崎
小坂　キヨイ	石母田
森江野　アキ	泉田
大木戸　ハルヨ	小坂
高城　タカ	斎藤マサイ
大枝　キイ	寺島トシ子
川内　ヨシ	八巻
西大枝　鈴木　キイ	渡部　赤間
	岩城　佐藤ヤヨイ
	菊地　節子
	木戸　サヨ

尚これらの参加者は町長の推薦状を持って農業改良普及所に申込まれたい。

九月・十月配分フィルム

◎村のおふくろ　二巻
農村婦人の過重労働に対する家族ぐるみの協力

◎一枚のふとん　二巻
一枚のふとんをつくることにより嫁の座が次第に円満になっていく

◎叱るもの叱られるもの　二巻
子どものしつけに関するいろいろな問題

◎面接のしかた　二巻
面接のしかたを教える

◎室町美術　二巻
微宗皇帝・王潤・雪舟・狩野山楽・金閣・銀閣・建長寺等江戸美術と共にぜひ見ておきたいもの

◎結婚の条件　三巻
農村青年の結婚にはどんな条件を要するか

◎いろり学級　二巻
農村の新生活運動のすすめ方の一面

◎孤立してはいけない　〃　〃　略

◎歴史への約束　〃　〃

◎宇宙時代の最初の三年
尚八月号でお知らせした十本は今月二十六日に返納し、新しい十本が十月初めに参ります。

〔編集後記〕

◎ご長命ほんとにおめでとうございます。ますますご健康でおくらしください。

◎老人福祉法成立おめでとうございます。国民だれもがこやつかいになる法律です。

◎若返りと知識の向上…それこそ愛される老人への近道です。

◎採長補短、人のふり見てわがふりなおせ。大いに見聞をひろめましょう。

◎本を読むお母さん。話し合うお母さん。そして考えるお母さんになりましょう。

◎女性に長命者多し。八十八才以上で一対五、八十才以上で三三対七二。

◎みのりの秋、スポーツの秋読書の秋、結局スポーツは体のみのり、読書は心のみのり。

◎町民体育大会近づく。新町建設と共に進んで来た十年。今年もみんなでたのしくやりましょう